



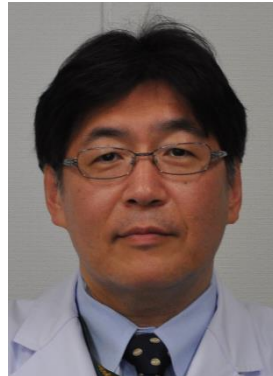
北海道大学整形外科 教室だより

平成30年5月16日発行 第3号 発行責任者 岩崎 倫政 編集 新井 隆太

新年度御挨拶

北海道大学整形外科 教授 岩崎 倫政

平成30年度の開始にあたりご挨拶申し上げます。昨年度は、教室運営に関し多大なご高配を賜り、この場をお借りして御礼申し上げます。教授拝命から、早5年が経過しました。北大整形外科同門会(以下、北大同門会)の諸先生方の多大なご指導、ご協力もあり教室運営の基盤が固まってきたと実感しております。



最初に、16名の先生が今年度北大整形外科に入局してくれたことを報告します。3年連続で2桁の入局者があり、久々に15名を突破したことはこの上なく喜ばしいことです。色々な場にて繰り返し述べてきましたが、教室員を増やすことが教室発展の生命線であります。どのような素晴らしいミッションを掲げ、綿密な計画を立てても、その下に人が集まらなければ、それらは机上の空論と化してしまう恐れもあります。一方で、勢いや魅力のない組織に人は集まりません。この5年間、入局者数は順調に右肩上がりとなってきましたが、この状態がいつまでも続く保証はありません。若い世代にとって魅力のある教室作りをし続け、常に多くの研修医や研究者が集まる組織を維持していきたいと考えています。同門の諸先生方には、教室員リクルートに関する多大なご協力とご支援をいただいております。今後ともこれまで同様、何卒よろしく願いいたします。

今年度から本格的に新専門医制度研修プログラムが開始されます。この制度の対象となるのは、初期研修を終了した卒後3年目以降(主として3年目)に本格的に整形外科を専攻する若手医師です。期間は4年間で、北大病院(基幹病院)を中心としてプログラムに登録され

た連携施設をローテーションし、研修を行う必要があります。北大整形外科研修プログラムは、教室の須藤英毅先生が中心となり関連病院の先生方とも協力し、国内有数の充実したプログラムが立ち上がっています。本年度は、新入医局員を中心に計12名がプログラムに登録しました。正式にはまだ公表されていませんが、北海道では3大学を含む5つのプログラム(3大学、手稲溪仁会病院、徳洲会病院)に合計19名程度の参加者がいると聞いております。研修プログラムは、多くの専攻医が参加することではじめてその効果が発揮され、発展していくものです。来年度以降も、北大整形外科研修プログラムを道内外の医学生や初期研修医にアピールし、さらに多くの参加者を募っていく考えであります。今後ともこれまで同様に、研修プログラム参加者をはじめとする研修医指導、何卒よろしく願いいたします。

次に今年度の教室の体制について報告させていただきます。昨年度同様に、北大整形外科学教室を中心に北大病院病内のスポーツ医学診療センターと医学研究科内の4つの寄附講座(脊椎・脊髄先端医学分野、スポーツ先端治療開発医学分野、先端的運動器機能解析・制御学分野、先端的糖鎖臨床生物学分野)で連携して臨床ならびに研究活動を行っていきます。臨床に関して、北大整形外科は基本的に部位別診療体制をとってきました。しかし、革新的な診断ならびに治療法が出現する現代では、このような部位別診療体制には限界があります。研修医教育や臨床研究のさらなる発展には、疾患領域別診療体制の充実も必要です。このような考えから、関節リウマチ・骨代謝診療に清水智弘先生、骨・軟部腫瘍診療に関しては増加する転移性骨腫瘍に対する診療体制の強化も意図してこれまでの新井隆太先生に加えて岩田

玲先生と松岡正剛先生(今年度は北海道がんセンター勤務)を配置しました。

昨年度の業績の詳細はこれから発刊されるAnnual Reportで報告しますが、主な業績を簡単に紹介させていただきます。2017年の英語論文(published & accepted)は58編で、臨床系論文25編、基礎系論文が33編です。学会発表に関しては、海外発表が飛躍的に伸びてきており、2018年3月のAAOSでは8題(podium 2題、poster 6題)、ORSでは20題(oral 6題、poster 14題)の発表がありました。また、須藤英毅先生のAMED研究費(総額8,000万)をはじめとする各種外部資金獲得件数・金額も順調に伸びており、科研費は新規・継続で計18件の採択がありました。これら業績の向上は、スタッフの熱心な指導の下、若い世代が着実に臨床および研究に力を発揮していることが最大の要因です。以前から繰り返してきましたが、北大整形外科の使命は、整形外科専門医を単に育成するのではなく、リサーチマインドとグローバルな感性を持つ整形外科医を育成していくことです。今後も、これまで以上に若い世代の臨床や研究をサポートし、その成果を海外に向け発信させていく所存であります。

今年度より、北大病院が臨床研究中核病院に正式に指定されました(全国12機関、東北・北海道では東北大と北大のみ)。これにより、北大病院は日本発の革新的医薬品・医療機器等の開発を推進するために国際水準の臨床研究等の中心的役割を担う病院として医療法上に位置づけられました。したがって、整形外科にも新規治療法や診断法の開発に向けた基礎および臨床研究をこれまで以上に行うことが要求されます。これにより、教室員はさらに負担を強いられることになるかもしれませんが、しかし、臨床研究中核病院が担う役割こそが北大整形外科が掲げる理念でもあります。先端的整形外科診療や研究が行える場に身を置いていることを光栄に思い、さらなる業績の向上をめざしていきたいと思います。

しかし、教室員のみ活動には限界もございます。毎年の繰り返しになりますが、北大整形外科教室が誇れる点は、健全なアカデミズムを持った多くの関連病院と同門会の先生方からのサポートがあることです。今年度もこれまで同様ご協力、ご支援をしていただきたくお願い申し上げます。

以上を持ちまして同門の皆様方への新年度のご挨拶に代えさせていただきます。

ご挨拶

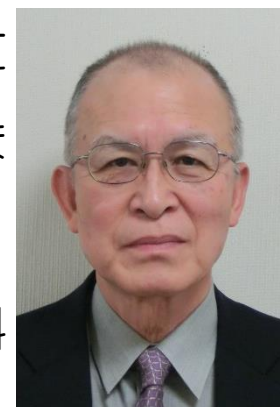
北海道大学整形外科 同門会長 増田 武志

同門会員の皆様、新年度を迎えてご多忙の日々をお送りのこととお察し申し上げます。

昨年11月18日には北海道大学整形外科教室開講70周年記念祝賀会が札幌京王プラザで行われました。先立ちましての記念講演会では、元日整会理事長・九州大学名誉教授の岩本幸英先生とノーベル化学賞受賞・北大名誉教授の鈴木章先生によるお話がありました。最終的な参加数は261名で、多数の同門会員の皆様が出席くださいました。さらに開講70周年記念誌発行に伴う寄付金もいただき、誠に有難うございました。

昨年の同門会総会では、長年の懸案でありました同門会会則を20年ぶりに改正いたしました。鈴木孝二副会長に主導してもらいました。ポイントは①会員の定義 ②監事の役割拡大 ③会費徴収:年会費の値上げおよび80歳以上の会費免除 ④支部:再編成して会員数に比例した役員数とする ⑤会員の相互扶助:教室依存から会員同士の助け合いへ ⑥会長選挙:2年ごとの支部役員選挙と並行して行う、であります。

昨年の事業の一つに「エルム基金」の設立があります。これは須田浩太副会長に主導してもらいました。その趣



旨は、同門会および教室の発展にはできるだけ多くの方に入会していただく必要があります。その確保には、学生・研修医に同門会ならびに教室を正しく理解してもらうことが大事で、そのための基金を創設することになりました。同門会関連施設責任者の皆様、ならびに一般会員の皆様の多大なるご支援によって予想を上回るご賛同を得ることが出来ました。その為もありましてか、今年の新入教室員は16名を数えることになりました。この基金は今年も継続いたしますが、皆様には無理のない範囲でのご協力をいただければ幸いです。

新年度になりましても国内外の情勢は不安定でありませんが、同門会ならびに教室が順調に歩を進めることができますことを期待し、確信しております。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

平成30年度 新設外来 紹介

「リウマチ・骨粗鬆症外来の開設のご挨拶」

北海道大学整形外科 清水 智弘

この4月から岩崎教授の御指導のもと関節リウマチ・骨粗鬆症の専門外来の再編をさせていただくこととなりましたので、簡単な説明とご紹介をさせていただきますと思います。



関節リウマチは、生物学的製剤の登場により「不治の病」から「治る病気」へ変わってきました。しかしながら、生物学的製剤使用における注意点として、感染症を含めた合併症に対する適切な全身状態の評価と治療など内科的管理が必須となってきております。西日本は主に、関節リウマチは「整形外科医」が診る病気、東日本は主に「内科医」（特に北海道ではその傾向が強い）が診る病気となっています。全身管理が不得手な医師が多い整形外科にとっては、生物学的製剤の治療は幾分ハード

ルが高く、内科医が生物学的治療を主に行う方が理にかなっていると私自身も思っております。一方で、機能的評価、レントゲンなどの画像評価、適切な手術時期のマネジメントはやはり整形外科医が得意のものであり、むしろ外科的手術は先導して行っていくべきものだと思っております。内科医からも「手術かどうか悩ましい関節リウマチ患者を誰に受診させていいかわからない」もしくは整形外科医からも「内科医は相談するのは少しハードルが高くてどうしていいかわからない」という声も聞かれます。臨床の観点からこのような状況に対して交通整理を行う必要があります。北大第二内科、近隣の整形外科やリウマチクリニックと連携をうまくとりながら質の高い診療を患者様に提供したいと思っております。

骨粗鬆症に関しても、「ただの骨の加齢性現象（老化）」ではなく、実は「骨脆弱性をきたす代謝疾患」であり罹患者が多い割に、安易に見られがちです。スクリーニングに置いてDEXAは有効ですが、より専門的な検査や病態検証により高度でエビデンスに基づいた最新の骨粗鬆症治療を提供したいと考えております。国内のトレンドは「骨粗鬆症のリエゾンサービス」であり、年に一度、二度の必要な検査や臨床的な評価などは専門的な機器の揃った施設で行い、定期処方などは近隣のクリニックなどの医療機関で行っていただくという体制の構築を学会で推奨しております。全国のトレンドに北海道の骨粗鬆症治療も遅れを取らないように行って行きたいと思っております。

研究においてはこれまで私が高畑雅彦先生の御指導を頂いた骨代謝からのアプローチ、第二内科との共同研究で行っている免疫学的なアプローチを継続して、基礎的、臨床的なアプローチで行なっていきたいと考えております。また私が留学先(UCSF)で行ってきた、CTやMRIを用いたイメージングを海外の施設、北海道大学の放射線科、保健科学院の神島教授と共同研究で行っていきたくと計画しております。骨粗鬆症の臨床研究にお

いては、今現在、関連病院の一部の先生にお願いさせて頂いている後ろ向きコホート研究(約10000例)や今後は多施設前向き研究を積極的に行っていきたい、北海道大学から全国、世界へと新しい知見を発信していきたいと考えております。

大学の役割は臨床、研究の他に教育があるかと存じます。専門医取得前後の先生方に積極的に臨床や研究に参加していただき、リサーチマインドを持った臨床医の育成にも力を入れていきたいと思っております。また一つのキャリアとして整形外科専門医の他に日本リウマチ学会専門医や日本骨粗鬆症学会認定医の取得などの手助けを行なっていきたいと思っております。

壮大な理想ばかりを並べてしまいましたが、北海道大学病院は全国12施設しかない臨床研究中核病院に認定されました。当然、そういう認定があるから、積極的にやる訳ではありませんが、社会から北海道大学病院及び整形外科に求められるニーズというものが明確となっているのが現状です。可能な限り良質の診療、質の高い研究、臨床医の育成に自分の得てきたスキルや経験をいかせていきたいと存じます。若輩者ですので同門の先生方に多大な迷惑をかけるかと思っております。何卒、御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

平成30年度 新任教官 紹介



岩田 玲

病院助教に採用されました脊柱班の岩田玲です。転移性脊椎腫瘍に対し低侵襲手技による支柱の再建や麻痺の改

善による生活の維持, 遠隔転移である転移性脊椎腫瘍に対して化学療法と組み合わせた予後の改善, 隣接臓器の直接浸潤に対する脊柱腫瘍全摘による根治を新たな目標に加えて脊柱の診療に取り組んでいきます。

平成30年度 教室体制

上肢班	教授	岩崎 倫政
	助教	河村 太介
	助教	瓜田 淳
	助教	松井 雄一郎 (病棟医長)
	医員	永野 裕介 (4月~6月)
	医員	濱野 博基 (10月~)
	医員	本谷 和俊 (7月~)
脊柱班	准教授	高畑 雅彦
	特任 准教授	須藤 英毅 (脊椎・脊髄先端医学分野)
	助教	岩田 玲
	医員	山田 勝久
	医員	遠藤 努
	医員	大西 貴士 (病棟係)
	医員	
下肢班	特任教授	近藤 英司 (スポーツ先端治療開発医学分野)
	講師	小野寺 智洋 (医局長)
	医員	岩崎 浩司
	医員	馬場 力哉 (上半期病棟係)
	医員	上徳 善太 (下半期病棟係)
	医員	中條 正英
	医員	
股関節班	講師	高橋 大介
	助教	浅野 毅
	医員	清水 智弘
腫瘍班	助教	新井 隆太 (外来医長)
スポーツ診療	助教	門間 太輔 (スポーツ医学診療センター)
基礎研究	特任 准教授	古川 潤一 (先端的糖鎖臨床生物学分野)
	特任講師	角家 健 (先端的運動器機能解析・制御学分野)
	助教	Mohamad Alaa Terkawi
上級研修医	医員	木田 博朗
	医員	甲斐原 拓真
	医員	小池 良直
	医員	清水 寛和
	医員	寺尾 英将
	医員	原谷 健太郎

新入教室員リクルート活動について

昨年度より引き続き北大整形外科の新入教室員のリクルート担当をしております門間です。今年度は16名の新入教室員を迎えることができました。毎年着実に新入医局員が増えていることはひとえに同門の諸先生方のご協力の賜物と思います。誠にありがとうございます。昨年、整形外科新専門医プログラムが本格的に開始したことによりさらに当科のプログラムに興味を持つ初期研修医が増えることが予想されますので、引き続きご協力をいただき20名の大台に到達できるよう勧誘を続けてまいります。

当科では①卒後臨床プログラム、②大学院進学コース、③サブスペシャリティ領域専門医研修プログラムという3つの研修プログラムを用意しております。①は卒後3年目以降を対象とし、整形外科専門医を目指します。②は大学院(臨床大学院を含む)で学位取得を目指し、③では専門医取得後に高度診断・治療技術の習得を目標としています。

本年度は、4月13日(金)に京王プラザホテルにて第1回医局および研修プログラム説明会を開催しました。今後は、5月18日(金)に帯広、6月8日(金)に函館で研修プログラム説明会を予定しており、7-8月にも再度、札幌にて研修プログラム説明会を予定しておりますので、昨年同様、同門会の諸先生方のご親族様や勤務先などで上記プログラムに興味をお持ちの医学部生、初期・後期研修医または整形外科医の方が周りにいらっしゃいましたら、下記まで是非ご一報いただけますと幸いです。今後とも何卒よろしくごお願い申し上げます。

門間 太輔

TEL: 011-706-5936

E-mail: d-momma@med.hokudai.ac.jp

平成30年度 新入局員 自己紹介

(アイウエオ順)

- ① 生年月日
- ② 出身高校
- ③ 出身大学
- ④ 独身あるいは既婚
- ⑤ 特技・趣味
- ⑥ 北大整形外科を志望した理由
- ⑦ 自己PR



石津 帆高

- ① 1993年2月4日
- ② 北嶺高校
- ③ 北海道大学
- ④ 独身
- ⑤ 野球、スノーボード
- ⑥ 元々整形外科に興味があり医学部に入学しまして、実際にこれまでお世話になりました先生方が魅力的で、先生方のもとで今後学びたいと強く感じたからです。
- ⑦ 全力で精進致しますので、御指導御鞭撻の程よろしくごお願い致します。



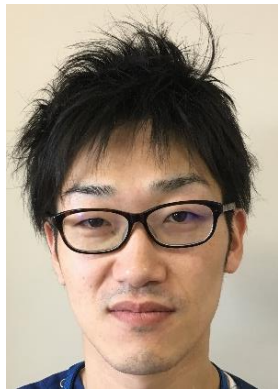
梅森 秀

- ① 1989年9月25日
- ② 帯広柏葉高校
- ③ 北海道大学
- ④ 独身
- ⑤ ソフトテニス
- ⑥ 研修にいい環境が整っていると感じたため。
- ⑦ 一生懸命頑張りますので宜しくごお願い致します。



小川 拓也

- ① 1988年10月24日
- ② 旭川東高校
- ③ 徳島大学
- ④ 既婚
- ⑤ サッカー
- ⑥ 初期研修中に北大整形外科の先生方にお世話になったため。
- ⑦ 精一杯頑張ります。ご指導・ご鞭撻のほどごお願い申し上げます。



木村 洋介

- ① 1988年3月5日
- ② 札幌西高校
- ③ 北海道大学
- ④ 独身

- ⑤ アイスホッケー
- ⑥ 専門的な知識と技術を得たいと思ったから。
- ⑦ 日々、精いっぱい努力します。宜しくお願い致します。



鈴木 久崇

- ① 1991年6月24日
- ② 札幌南高校
- ③ 北海道大学
- ④ 独身

- ⑤ 陸上(主は短距離)、スキー
- ⑥ 雰囲気良く、学生実習でお世話になった際にも非常に勉強になったため。
- ⑦ 整形に集中するのは来年度からになりますが、一つ一つ目の前のことに全力で向き合っていきたいと思います。



櫻庭 淳志

- ① 1991年7月20日
- ② 城北高校
- ③ 秋田大学
- ④ 既婚

- ⑤ 釣り
- ⑥ 臨床、研究とも充実しており自分のやりたいことが出来ると思ったため。
- ⑦ 何事にも楽しくあたって行く所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。



徳廣 泰貴

- ① 1992年12月30日
- ② 旭川東高校
- ③ 北海道大学
- ④ 独身

- ⑤ サッカー
- ⑥ 臨床・研究ともに力を入れており、魅力的だと感じたから。
- ⑦ 一つずつ学んでいきたいと思っています。よろしくお願い致します。



佐藤 恒明

- ① 1983年8月9日
- ② 愛光高校
- ③ 北海道大学
- ④ 既婚

- ⑤ 柔道 ブラジリアン柔術
- ⑥ 出身大学であり、皆さんに暖かかく誘っていただけただけからです。
- ⑦ 今のところ人を治すより人を壊すことの方が得意です。いい年取った未熟者ですが、早く、治すことのほうが得意と言えるように頑張ります。



中條 正英

今年度より整形外科に入局させていただきました。下肢、スポーツ外傷を中心に学ばせて頂きたいと思っております。北海道は初めての地で、右も左

分からずご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



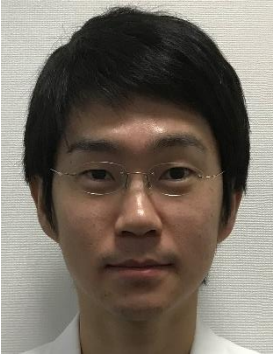
長谷部 弘之

今年度より整形外科に入局いたしました。北海道医療センターに勤務し脊椎を中心として診療を行って参ります。微力ではありますが、地域の医療に貢献し教室の一員として努力して参りたいと思います。ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。



三浦 宗也

- ① 1989年7月6日
- ② 彦根東高校
- ③ 弘前大学
- ④ 独身
- ⑤ サッカー、登山
- ⑥ 人に勧められて
- ⑦ 初めまして、現在は札幌東区の勤医協中央病院で働いております。よろしくお願いします。



原 健人

今年度より入局させていただきます。手稲溪仁会病院で整形外科専門研修を終え、今年度も同院で膝関節を中心に、股関節、一般外傷の加療に邁進する所存です。来年度からの大学院での研究生活では環境が大きく変わり、視野が広がることを楽しみにしています。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



宮野 真博

- ① 1991年4月25日
- ② 札幌東高校
- ③ 旭川医科大学
- ④ 独身
- ⑤ テニス、歌、カート
- ⑥ 研究・臨床ともに充実した環境で学ぶことができるため。
- ⑦ 一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



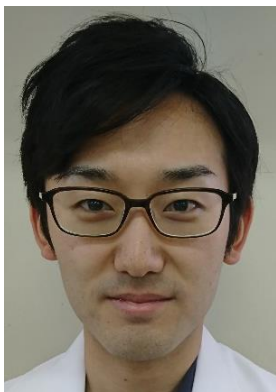
深田 翔太郎

- ① 1985年9月26日
- ② 札幌西高校
- ③ 北海道大学
- ④ 独身
- ⑤ 温泉巡り、海外旅行
- ⑥ 臨床・研究の基礎をしっかりと学ぶことができると思ったため。
- ⑦ 精一杯頑張ります。御指導御鞭撻のほどよろしくお願い致します。



村中 祐介

- ① 1991年12月29日
- ② 帯広柏葉高校
- ③ 北海道大学
- ④ 独身
- ⑤ スキー、サッカー
- ⑥ 病院実習の際に一番楽しいと感じたため。
- ⑦ 一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。



松ヶ崎 圭純

- ① 1989年5月4日
- ② 札幌南高校
- ③ 北海道大学
- ④ 既婚
- ⑤ 野球、ゴルフ
- ⑥ 出身大学でもあり、臨床・研究ともに魅力を感じたため。
- ⑦ まだまだ未熟者ですが、一所懸命に研修し周りから信頼される医師になりたいと思います。ご指導よろしくお願い致します。

平成30年度 教室員 外来・出張スケジュール

	月	火	水	木	金
上肢	岩崎倫 松井 瓜田	手術	河村 永野(～6月) 本谷(7月～)	岩崎倫 (不定期、予約のみ) 松井 濱野(10月～)	河村 瓜田
下肢	近藤 岩崎浩	手術 小野寺	岩崎浩 馬場	手術	近藤 小野寺 上徳
股関節	高橋 浅野	浅野	高橋(第1, 3, 4, 5) 清水智	手術	清水智
脊柱	高畑 岩田 山田	手術	高畑 岩田 遠藤	手術 須藤(側弯症外来)	須藤 山田 大西
腫瘍	新井		新井		
リウマチ			清水智		清水智
骨粗鬆症		浅野	清水智		清水智
スポーツ				門間	門間
リハビリ		遠山			
特殊	小児股関節	内反足	小児股関節 骨・軟部腫瘍	側弯症 先天性疾患	先天性疾患 血友病
定期出張		高橋： 倶知安厚生 (第1) 小樽市立 (第3・5) 北海道内科リウ マチ(第4) 新井： がんセンター (第1・3・5) 小樽市立 (第2) 市立旭川 (第4) 清水智： 岩見沢市立 (第1・3・5) 北海道内科リウ マチ(第2) 記念(第4)	岩崎倫： 市立旭川 (不定期) 近藤： 八木整形 (第1・2・3) 釧路労災(第4) 高橋： 市立釧路(第2) 浅野： 岩見沢市立 (第1・3・5) 須藤： 倶知安厚生 (第1・2・4) 山田： 王子(第1) 我汝会さっぽろ (第2・3・4) 大西： 道医療センター (第1・2・3・4) 瓜田： 帯広厚生 (第1・3) KKR札幌医療 (第2・4) 松井： 市立旭川 (第1、～6月) 東徳洲会 (第1,7月～) JCHO札幌北辰 (第2・4) 八木整形(第3) 門間： 八雲(第1・3) 苫小牧市立 (第2・4) 濱野： 記念(10月～) 小野寺： 小樽市立(第1) 道医療センター (第2) KKR斗南(第3) 北海道内科リウ マチ(第4) 上徳： 八木整形 (第1・3) 記念(第2・4)	河村： 苫小牧市立 (第1・3) 北海道内科リウ マチ(第2) 天使(第4) 本谷： 市立旭川 (第1・3) 東徳洲会 (第2・4) (7月～) 永野： 道医療センター (第1・2・4) 市立旭川 (第3) (～6月)	岩崎倫： 八雲 (不定期) 高畑： 北海道内科リウ マチ(第1) 浅野： KKR斗南 (第2・4) 岩田： 斗南(第1・3) 天使(第2) 函館中央 (第4) 馬場： 小樽市立 (第1・3・5) 道医療センター (第2) 函館中央(第4) 遠藤： 苫小牧市立(第1) 王子(第2・3・4) 岩崎浩： 函館中央(第2) 道医療センター (第1・3) 愛育(第4)

教室名ならびに教室組織図

教室名

北海道大学大学院医学研究院 専門医学系部門 機能再生医学分野 整形外科学教室
Department of Orthopaedic Surgery, Faculty of Medicine and Graduate School of Medicine, Hokkaido University

教室組織図（カッコ内はチーフ）

教授:岩崎 倫政

